

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	からふるtoys		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		～ 2025年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様の要望に対し、早急に対応するとともに、療育内容へ反映させることができる	・フィードバック時の保護者様の要望や意見を、的確に吸い上げ共有する。 ・メールや電話等でも相談を受け入れ、次回の療育に活かすことができている。 ・情報共有シートを活用し、全てのスタッフがいつでも情報を確認することができるようになっている。	・聞き取る力の向上。 ニーズを聞き取る、気持ちを受け止める、ヒアリング力を上げる等。 ・情報共有シートの効率化。
2	・フレキシブルな療育プログラムの提供	・サッカー教室の実施。 ・個別、小集団の両方対応することができる。 ・心理プログラムや、SSTの充実。 ・イベントの実施。	・保護者様のニーズの把握をより密に行う。 ・フィードバック時の聞き取り。 ・スタッフの長所を活かした療育プログラムの提供。
3	・担当制にしていないことにより、多角的なアセスメントやアプローチを行うことができる	・スタッフ一人ひとりがお子様を把握することができる。 ・プログラムに関して、すぐに相談できる環境。 ・プログラムや使用する道具を指定することなく、自ら考え工夫し、提供ができている。	・スタッフ一人一人の能力やスキルの向上。 ・研修内容やフィードバックの質の向上。 ・学習できる場や時間の提供。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニングの内容充実や、家族支援への取り組み	・保護者様からの働きかけがあった際には、柔軟な対応ができているが、こちらからの働きかけが不十分である。 ・お子様の入れ替えに使える時間が少なく、保護者様とのフィードバックに多くの時間を割くことが難しい。	・保護者様に寄り添ったフィードバックの実施。また、聞き取り力の向上。 ・児発管がより面談に割く時間を作る。 ・面談やコミュニケーションをどのくらい求めていただいているかを、ご家庭ごとに把握し実施していく。
2	・療育に関する専門的な知識の向上	・研修内容がまだ不十分である。 ・到達してほしい具体的な目標を提示することができていない。 ・研修時間の確保が難しい。	・研修内容の強化。 ・スキルや知識をどこまでつけてほしいか具体的に提示し、該当スキルを獲得できる環境を作る。
3	・担当制にしていないことにより、最終的な到達目標に関してズレが生じることがある	・シフトの関係で、全体での話し合いの場が少ない。 ・提供記録の記載内容不足。 ・計画作成後の共有が不十分。	・情報共有シートの活用。出勤時に必ず情報共有シートを確認することを徹底する。 ・提供記録に関して、客観的データをより具体的に記載する。 ・月初に、計画に関する共有時間を作る。よく担当しているスタッフからの現状報告や、到達目標の意図を全体で共有する。